

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 605 号	氏名	大池 貴行
学位審査委員	主査	沖田 実	
	副査	有吉 紅也	
	副査	中根 秀之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の早期発見のためのスクリーニングとしてどの調査形態が最も有用であるのかを検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 調査形態としては、人間ドック、健康診断、外来受診ならびに 11-Q と呼ばれる質問票を用いた COPD スクリーニングを取り上げ、年齢や喫煙状況、肺機能検査に基づく各種のパラメータを統計学的に比較し、それぞれの調査形態の特徴を明らかにするとともに、気流閉塞の有無を従属変数とした多重ロジスティック解析によってどの調査形態が COPD のスクリーニングに有用かを明らかにしており、研究手法としても妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、11-Q を用いたスクリーニングが他の調査形態より潜在する COPD 患者を効果的に発見できることが示され、今後、各種フィールドや様々な調査形態での利用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は疾病スクリーニング研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			